

# 茶室 明月亭



## 【松間明月】

たちならぶ まつの木の間に 照そひて  
月も千年の あきちぎるかげ

— 押小路前参議実富 —

7代藩主浅野重晟が、京都の公卿八人に一人一首で縮景園八勝と題する和歌を依頼した。